

グローバル知的財産・標準化戦略に関する ケース教材の活用のご案内

平成29年4月

特許庁総務部企画調査課

- 背景と概要
- ケース教材の活用方法

背景と概要

知財人財育成の方向性（事業目線で知財を創出・活用できる人材の育成）

- ◆ グローバル競争が激化する中において、企業においては、競争力強化のために知的財産や国際標準を戦略的に事業戦略に活用できる人財（**知財マネジメント人財**）や、世界を舞台に活躍できる知財人財（**グローバル知財人財**）が求められている。
- ◆ 企業組織内においては、知財部門のみならず、経営層、経営企画部門・事業部門においても、経営戦略の観点から知的財産を戦略的に調達・活用することの重要性を認識し、実践できる「人財」を確保していくことが必要。

我が国の優れた技術力・デザイン力・ブランド力が、必ずしもグローバルな競争力に結び付いていない。

我が国のイノベーションシステムとして、研究開発成果を事後的に特許権化する「技術起点型サイクル」のみならず、事業戦略を起点とした「事業起点型サイクル」を併用し、両サイクルの使い分けや組合せといった戦略的活用が不可欠。

〇求められるイノベーションシステムが変化

技術起点型サイクル

技術戦略を主軸



事業起点型サイクル

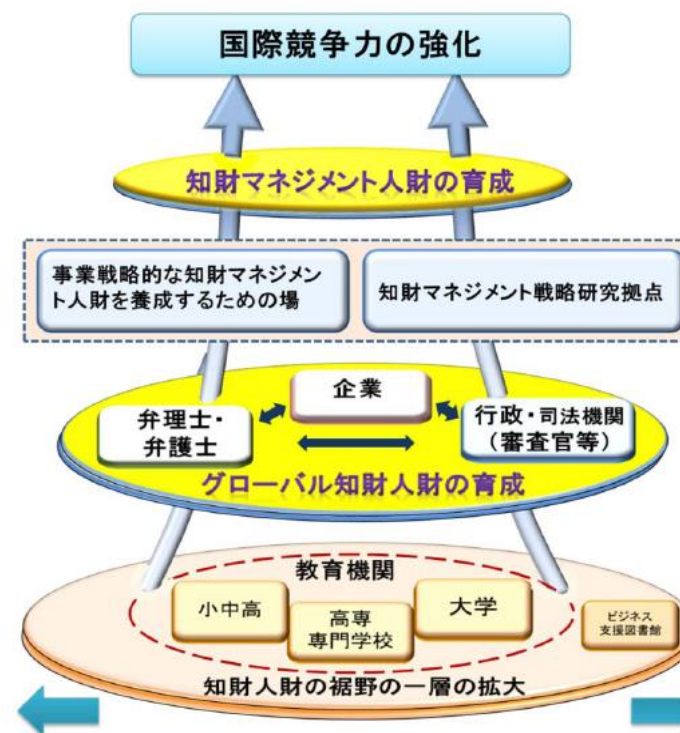
事業・イノベーション戦略を主軸



重点化

両サイクルの使い分けや組合せといった戦略的活用が不可欠

10年先を見据えた「知財人財育成プラン」の策定



知財人財の裾野の一層の拡大と、優れた事業・イノベーション戦略に貢献する知財人財の育成確保を図る。

- ◆ 事業戦略的な知財マネジメントを構築・実践するグローバル知財人財の育成を政府が主体となって推進することが「知的財産政策に関する基本方針」に規定。

「知的財産政策に関する基本方針」（閣議決定、平成25年6月7日）

1 産業競争力強化のためのグローバル知財システムの構築

- ・・・以上のような我が国の企業によるグローバルな事業展開を支えるため、事業戦略的な知財マネジメントを構築・実践するグローバル知財人財の育成・確保に取り組む必要がある。
- (5) グローバル知財人財を育成・確保するため、工業所有権情報・研修館を活用するなど、政府が主体となってその育成・確保を推進する。

「知的財産政策ビジョン」（知的財産戦略本部決定、平成25年6月7日）

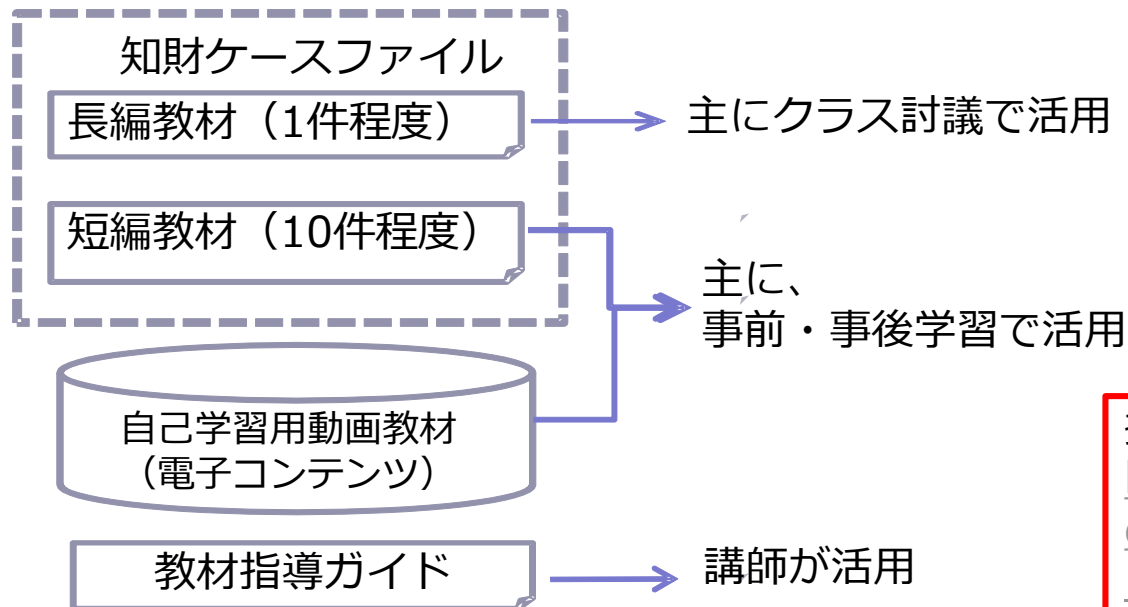
- 世界を舞台に活躍できるグローバル知財人財や、経営層も含む知財マネジメント人材を育成するためには、諸外国の様々な知財情報、知財に関する法律的な知識、事業戦略と連携した知財戦略に関する知見やノウハウを包括的に提供できる場が必要である。米国特許商標庁（USPTO）などの取組を参考にしながら、我が国においても、民間セクターと連携しつつ政府機関が中心となって世界を舞台に活躍できる知財人財などを育成するための場を整備する。

「知的財産政策ビジョン」（知的財産戦略本部決定、平成25年6月7日）

- 知的財産に関する研究機関については、世界から優れた知的財産などに関する研究者を集めるための方策について検討し、必要な措置を講じる。また、知的財産に関する教育機関については、日本の知財システムをグローバルに展開すること及びグローバル知財人財を確保することを目的とした知財教育プログラム（英語を基本とした講義など）を設け、この知財教育プログラムを着実に実行する体制を確立する。

- ◆ 知的財産を経営戦略に活用できる人材の育成を目的として、**経営幹部・経営幹部候補や経営企画・事業部等の管理職を主な対象**とする、計12テーマの教材を開発。開発した教材について順次提供開始。
- ◆ 少人数グループによるディスカッションを行うケースメソッド形式を前提。
- ◆ 授業や研修等で利用することによって、知的財産・標準化を取り入れた経営戦略上の分析力、意思決定力が効果的に高まることを期待。
- ◆ ケース教材の活用方法、講義・ディスカッション等の研修の運営方法をまとめた教材指導ガイド等も提供。

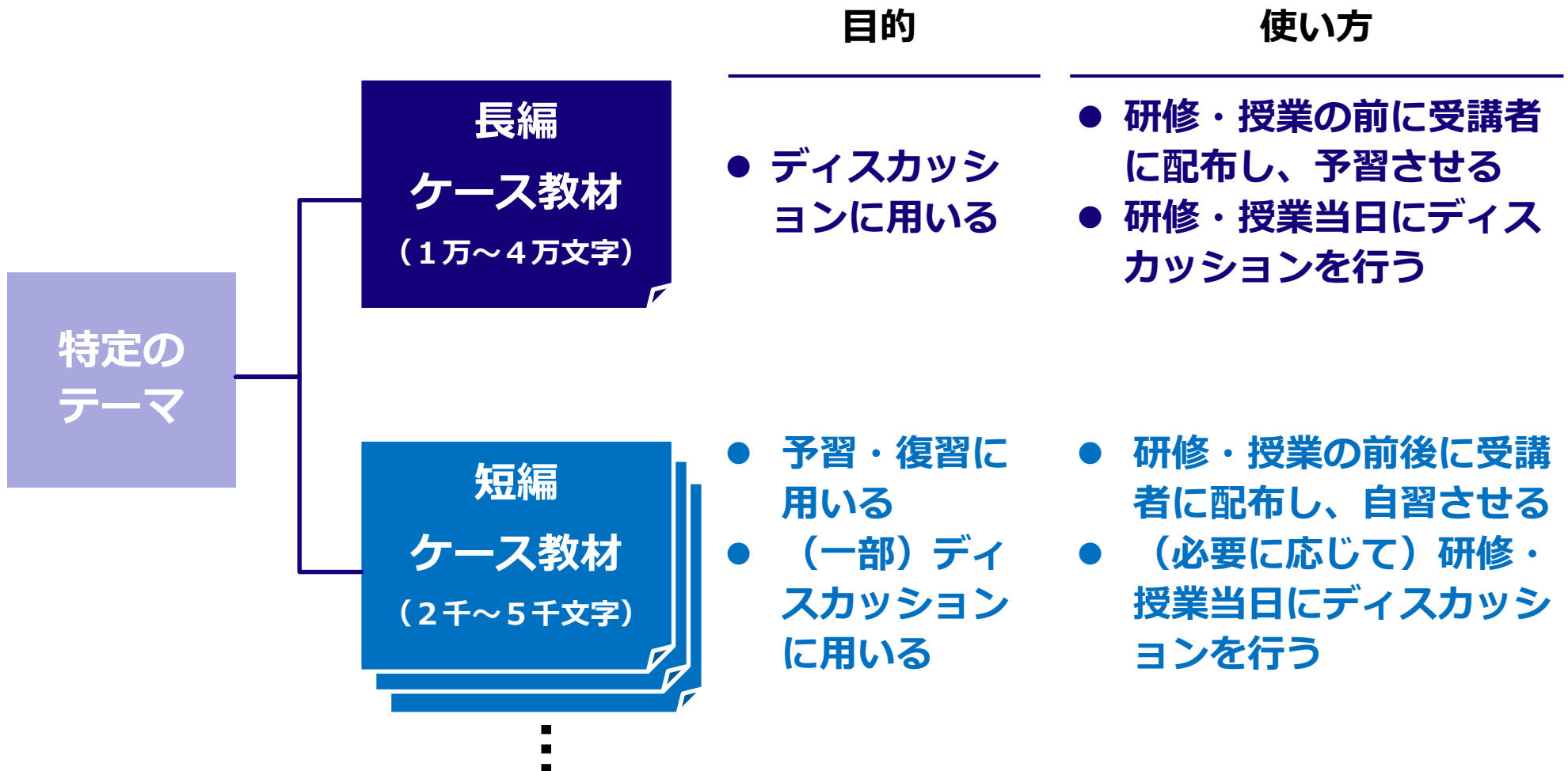
教材の構成



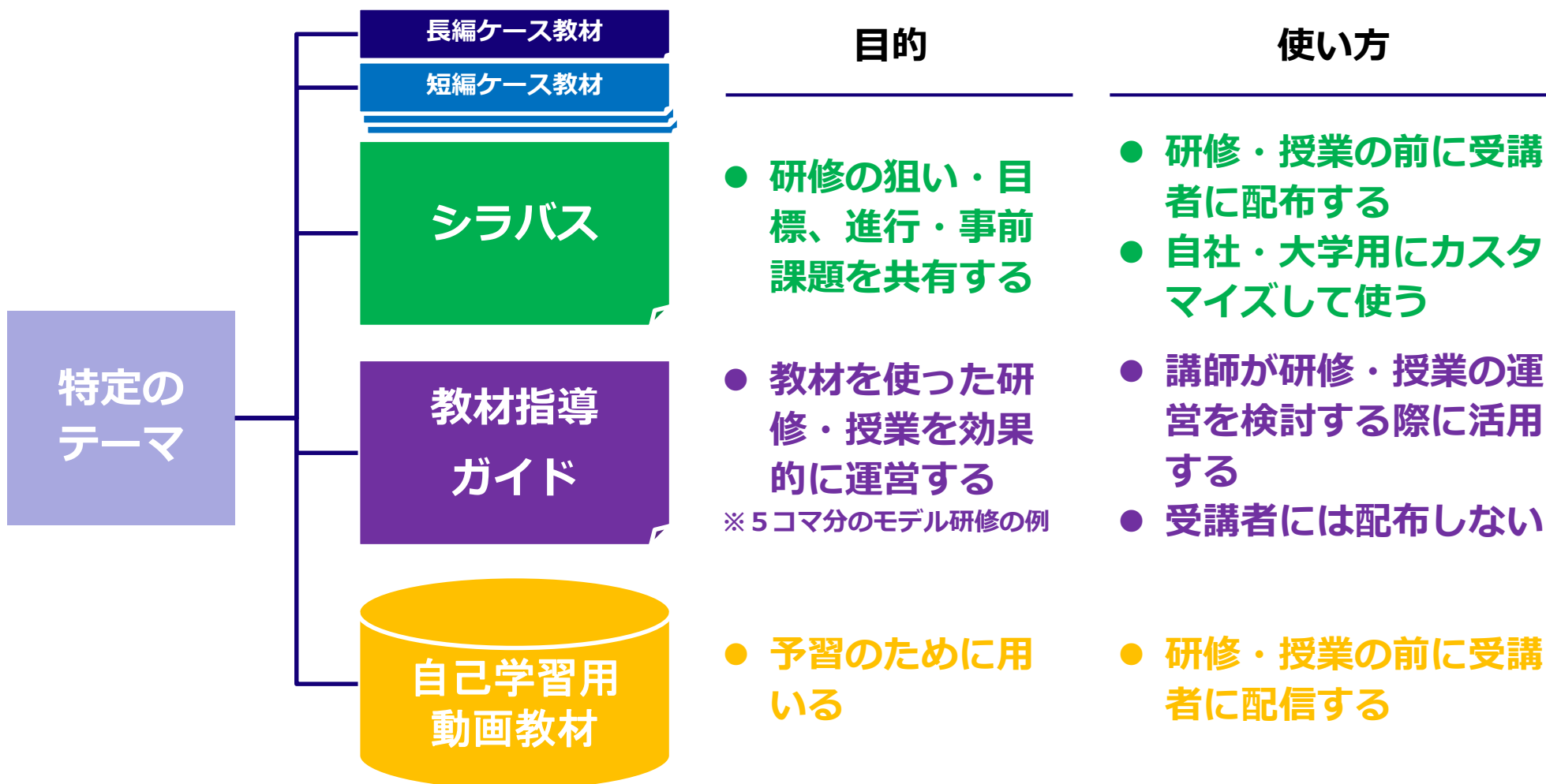
- ・ 1テーマの分量は、概ね90分×5コマ程度。
- ・ テーマ単位のほか、長編教材・短編教材単位での利用も一部可能

提供中の教材の申し込みURL
http://www.jpo.go.jp/shiryou/s_sonota/teaching_case.htm

テーマごとにケース教材には1件程度の長編の教材、5～9件程度の短編の教材がある



ケース教材だけでなく、テーマごと^にに研修・授業を効果的に運営するためのシラバス、教材指導ガイド、自己学習用動画教材も無料で提供しています



◆ 有識者委員会での議論等も踏まえ、対象のニーズに沿ったテーマを設定した

主な対象	平成26年度	平成27年度	平成28年度
(1) 企業経営幹部・幹部候補	グローバル経営戦略	イノベーション マネジメント	オープンイノベーショ ンマネジメント
(2) 経営企画部門の管理職			
(3) 事業部門の管理職	国際標準化 マネジメント	オープンイノベーション の仕組みとしてのコーポ レートベンチャリング	ビジネスモデルデザイン (入門編)
	ソフトウェア・ICT 産業の知財を活用した 事業戦略	イノベーションのための デザイン・ブランド戦略	
	国際知財交渉 マネジメント (英語)	イノベーションと ネゴシエーション (英語)	オープンイノベーション とマルチパーティネゴシ エーション (英語)
(4) 中小企業の経営者・ 後継者	中小企業の オープン＆クローズ 戦略		

提供教材（（１）経営幹部・幹部候補、（２）経営企画部門向け）

テーマ	狙い	監修（肩書は原則教材執筆時）	知財ケースファイル（長編、短編）で取り上げた事例
グローバル経営戦略	新興国をはじめとするグローバル展開を見据えた全社戦略の確立・推進、企業提携・M&A・ライセンス契約・訴訟、組織体制の構築等の 企業経営の重要な局面において、知財・標準化マネジメントを取り入れた、経営戦略上の意思決定について概観的に学びます。	立本 博文 ／筑波大学大学院 ビジネス科学研究科 教授	【長編】 移動体通信ビジネス 【中編】 プラットフォームビジネス（インテル） 【短編】 ビジネス・エコシステム／プラットフォーム・ビジネス ／特許活用・産学連携／戦略的標準化／標準必須特許
イノベーションマネジメント	「ビジネスエコシステムのマネジメント」、「オープン＆クローズ戦略」等の新しいタイプの経営戦略のコンセプトについて学びます。とくにビジネスモデル構築の重要性和知財、標準化の戦略的活用方法について学びます。		【長編】 （公開準備中） 【短編】 GSM携帯電話／事業ドメインと知財の関係／オープン・イノベーションの10年間／日本企業のプラットフォーム戦略の課題
オープンイノベーションマネジメント	オープン・イノベーションの基本について戦略と組織という2つの観点から学びます。 国内外の先進事例をもとに、日本企業におけるオープン・イノベーションを学びます。	清水 洋 ／一橋大学イノベーション研究センター 准教授	【長編】 GE 【短編】 P&G／デュポン／DSM・東洋紡／アンダーアーマー／味の素 ／仲介機関／オープンイノベーションと知財戦略／KDDI／パナソニック

提供教材（（３）事業部門の管理職向け）

研修テーマ	狙い	監修（肩書は原則教材執筆時）	知財ケースファイル（長編、短編）で取り上げた事例
グローバル競争力強化のための国際標準化マネジメント	国際標準化マネジメントを実践するために必要な基礎知識を習得し、知的財産と国際標準化との関係性を理解するとともに、 グローバル競争力の強化に資する「国際標準化マネジメント」の実践及び事業戦略への活用 について学びます。	上條 由紀子 ／金沢工業大学大学院 知的創造システム専攻 准教授	【長編】サイバーダイン／ボッシュ 【短編】アップルvsサムスン電子／大成プラス／ソニー／オリンパス等
ソフトウェア・ICT産業における知的財産を活用した事業戦略	ソフトウェア・ICT産業における事業戦略の確立・推進、ビジネスモデルの構築のための知的財産の戦略的なマネジメント について学びます。	加藤 浩一郎 ／金沢工業大学大学院 知的創造システム専攻 教授	【長編】アドビシステムズ／デンソーウェーブ／キヤノン等のデジタルカメラ産業 【短編】アップル／セールスフォース・ドットコム／MPEGLA／Open Innovation Network／日本電気／マイクロソフト／グーグル／イーパースル／市川ソフトラボラトリー／サイボウズ
オープンイノベーションの仕組みとしてのコーポレート・ベンチャリング	ベンチャー企業を活用してオープンイノベーションを行う「 コーポレート・ベンチャリング 」の 重要性、手法、実行上の阻害要因と対処方法 について学びます。	中村裕一郎 ／上武大学国際ビジネス学科 教授 （元富士通経営戦略部門）	【長編】富士通のコーポレート・ベンチャリング 【短編】ルーセント・テクノロジー／シスコシステムズ／フローディア／パナソニック・デジタル・コンセプトセンター／日立CVC／イノベーションにおけるコンフリクトの役割／QDレーザ／PUX
イノベーションのためのデザイン・ブランド戦略	市場創出のための「 デザイン・ドリブン・イノベーション 」と技術・素材をブランド化する「 インブランディング 」という新しいデザイン・ブランド戦略を学びます。	杉光一成 ／金沢工業大学大学院 知的創造システム専攻 教授	【長編】iRobotのルンバ／ユニクロと東レのヒートテック 【短編】デザインとイノベーション／イノベーションとブルーオーシャン戦略／ソニーのデザイン志向／イノベーション・ブランド戦略
ビジネスモデルデザイン（入門編）	産業生態系の変容とイノベーションの動向を概観した上で、製造業のサービス化をはじめとするビジネスモデル群とそれを支える知財マネジメント について、その基礎を学びます。	妹尾 堅一郎 ／特定非営利活動法人 産学連携推進機構 理事長	【長編】シスメックス 【短編】下町ロケットに学ぶビジネスモデル／G製作所／本体消耗品モデルの基本／ホギメディカル／ブリヂストン／澁谷工業／クマヒラグループ／本体メンテナンスモデルの基本／三浦工業／栗田工業／月島機械／用語集（産業生態系、イノベーション、ビジネスモデルと知財マネジメント）

提供教材（（３）事業部門の管理職向け 英語教材）

研修テーマ	狙い	監修（肩書は原則教材執筆時）	知財ケースファイル（長編、短編）で取り上げた事例
グローバル経営戦略を実現するための国際知財交渉マネジメント	グローバル経営戦略を具体化するための、知財を活用した交渉マネジメントの基本を学びます。	二又 俊文 ／東京大学政策ビジョン研究センター 客員研究員	【長編】欧米通信機器メーカーvs日本通信端末メーカー 【短編】日本半導体デバイス企業vs米国ベンチャー／日本半導体関連企業vs韓国半導体関連装置企業／欧州企業vs中国ICT企業等
イノベーションとネゴシエーション	イノベーションマネジメントを実現するための「共同開発」、「産学連携」、「M&A」という3つの場面のネゴシエーションをケース教材と模擬交渉により実践的に学びます。		【長編】精密電子工業／Kratos ケーススタディ（M&A事案） 【短編】M&A概論／米国企業による日本企業買収／日米企業の共同開発失敗事例／日欧企業の共同開発失敗事例／日本の産学連携の成功事例／産学連携事案（概論）／フランスにおける産学連携
オープンイノベーションとマルチパーティネゴシエーション	オープン・イノベーションを実現するための多数当事者交渉をテーマとして、コンソーシアム・標準化団体などの多数企業・異業種企業との交渉を実践的に学びます。		【長編】規格化を巡る交渉 【短編】標準化活動概論／DVBにみる標準化／医療分野の Patent プール交渉／M&A多数当事者交渉／独占禁止法／インダストリアルインターネットコンソーシアム概論／多数当事者交渉概論

※日本語の教材も提供（一部除く。）。

提供教材（（４）中小企業向け）

研修テーマ	狙い	監修（肩書は原則 教材執筆時）	知財ケースファイル（長編、短編）で取り上げた事例
中小企業における オープン&クローズ戦略	経営資源に制約のある 中小企業におけるオープン&クローズ戦略 を学習します。大企業であっても新規事業の立案、グローバル市場の戦略立案に役立つ内容になっています。	糸久 正人 ／法政大学 社会学部 社会政策学科 専任講師	【長編】グリーンテクノ21 【短編】吉野化成／ナカシマメディカル／富士通（中小企業との連携事例）

学習効果を高めるために検証研修を通じてブラッシュアップした教材です

ケース教材等
の作成

ケース教材を
使った検証研
修の開催

検証研修を受
けたブラッシ
ュアップ

完成・
提供開始

教材案の作成

長編ケース教材（案）

短編ケース教材（案）

シラバス（案）

教材指導ガイド（案）

自己学習用動画教材（案）

受講者を集めて
研修を開催



受講者
ヒアリング
アンケート結果
を反映

教材の完成

長編ケース教材

短編ケース教材

シラバス

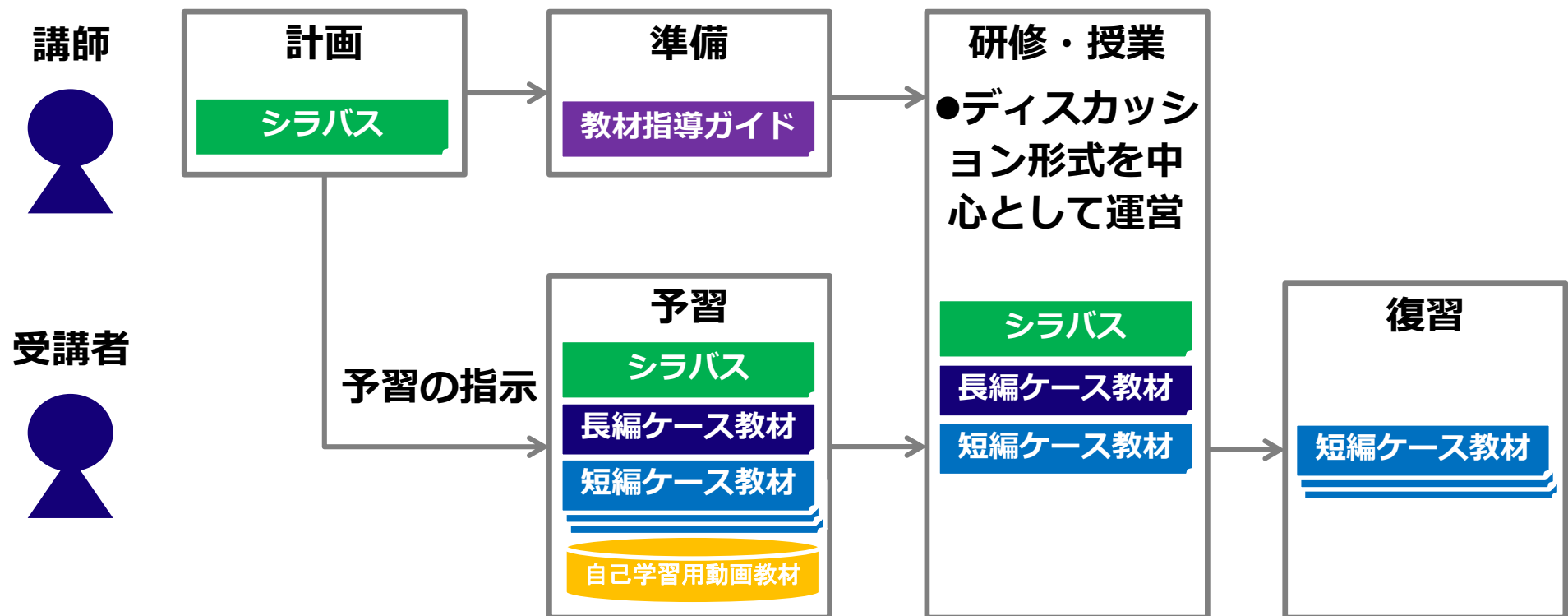
教材指導ガイド

自己学習用動画教材

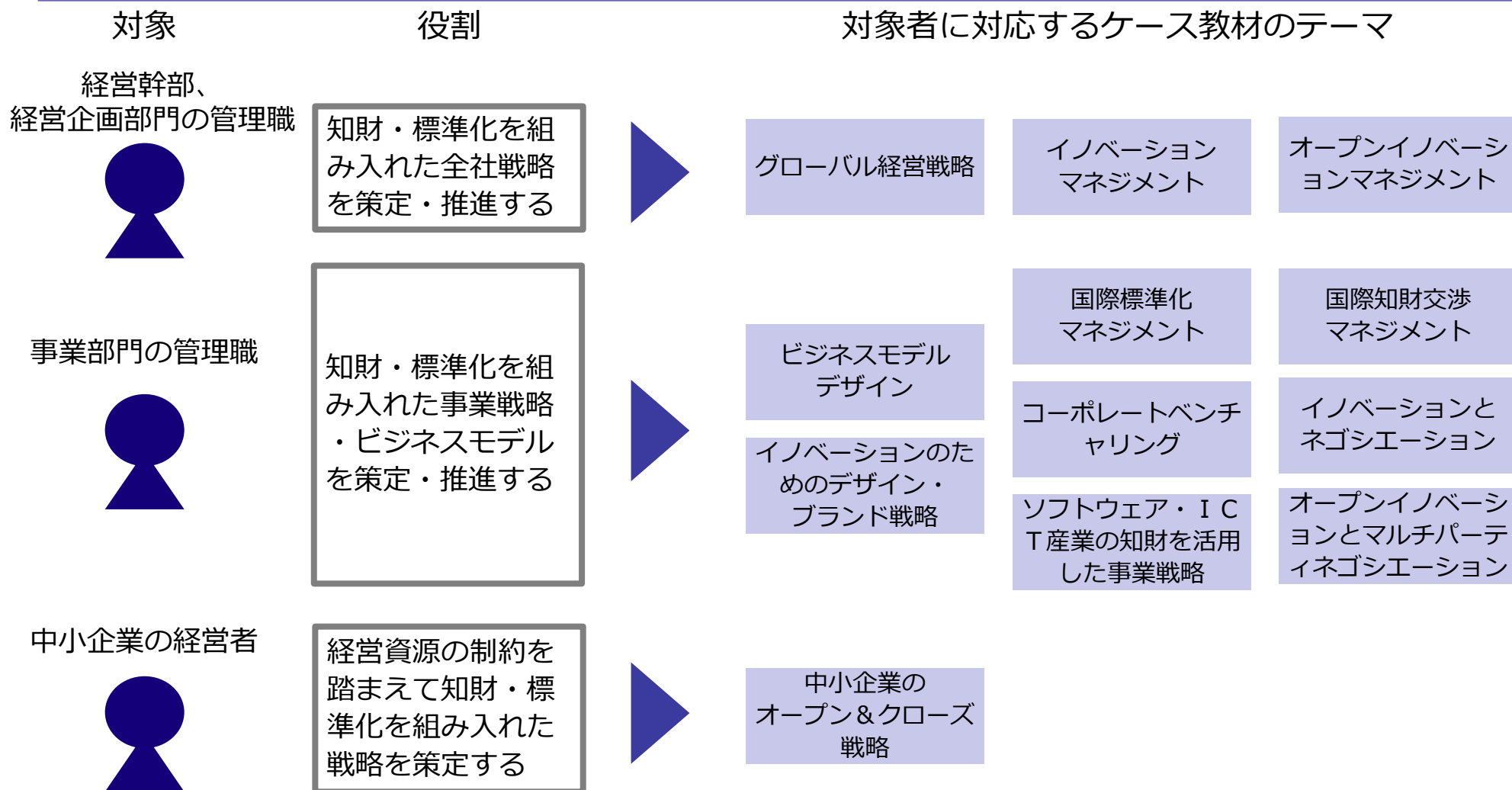
受講者からのフィードバックを受けた学習効果の高い教材を提供

ケース教材の活用方法

講師はケース教材以外のシラバス、教材指導ガイド等を活用して事前準備を行う



所属部門・企業規模別の対象に合わせてケース教材を活用



企業の経営課題に沿ってケース教材を活用

目的

人材育成の考え方

お勧めするケース教材のテーマ例

近年の**競争戦略の基本**を知りたい

「ビジネスエコシステム」や「オープン＆クローズ戦略」などの近年の戦略発想を学ぶ必要があります

グローバル経営戦略

中小企業の
オープン＆クローズ
戦略

新規事業を立案したい

「製造業のサービス化」等のビジネスモデルのパターンと、対応する知財マネジメントを学ぶ必要があります

ビジネスモデル
デザイン

技術だけに依存しないイノベーションを起こしたい

デザインドリブンや技術ブランドなど、新しいイノベーションのモデルが必要になります

イノベーションのための
デザイン・
ブランド戦略

競合や異業種企業と連携してグローバルに市場を拡大したい

戦略的標準化、ベンチャー企業との連携、M&Aなどのオープンイノベーションに取り組む必要があります

国際標準化
マネジメント

イノベーションと
ネゴシエーション

ICT・デジタル技術を活用した新しいビジネスを立ち上げたい

ICTの特徴を十分に踏まえた知財・標準化マネジメントがポイントになります

ソフトウェア・ICT産業の知財を活用した事業戦略

企業の経営課題に沿って**ケース教材単位**でも活用することができる

目的

人材育成の考え方

お勧めするケース教材の例 (No.)

近年の**競争戦略の基本**を知りたい

「ビジネスエコシステム」や「オープン&クローズ戦略」などの近年の戦略発想を学ぶ必要があります

グリーンテクノ(5-1長編)

ビジネスエコシステム(1-3短編)

新規事業を立案したい

「製造業のサービス化」等のビジネスモデルのパターンと、対応する知財マネジメントを学ぶ必要があります

ホギメディカル(11-5短編)

ブリヂストン(11-6短編)

技術だけに依存しないイノベーションを起こしたい

デザインドリブンや技術ブランドなど、新しいイノベーションのモデルが必要になります

iRobot(8-4長編)

ユニクロ(8-6短編)

競合や異業種企業と連携してグローバルに市場を拡大したい

戦略的標準化、ベンチャー企業との連携、M&Aなどのオープンイノベーションに取り組む必要があります

精密電子工業/Kratos(9-1長編)

富士通(7-1長編)

ICT・デジタル技術を活用した新しいビジネスを立ち上げたい

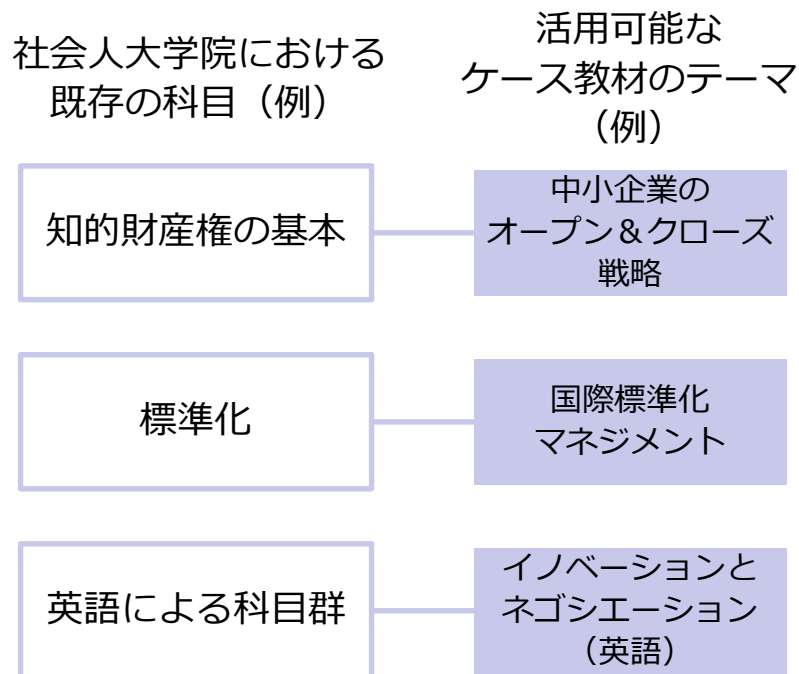
ICTの特徴を十分に踏まえた知財・標準化マネジメントがポイントになります

デンソーウェーブ(2-2長編)

イーパーセル(2-11短編)

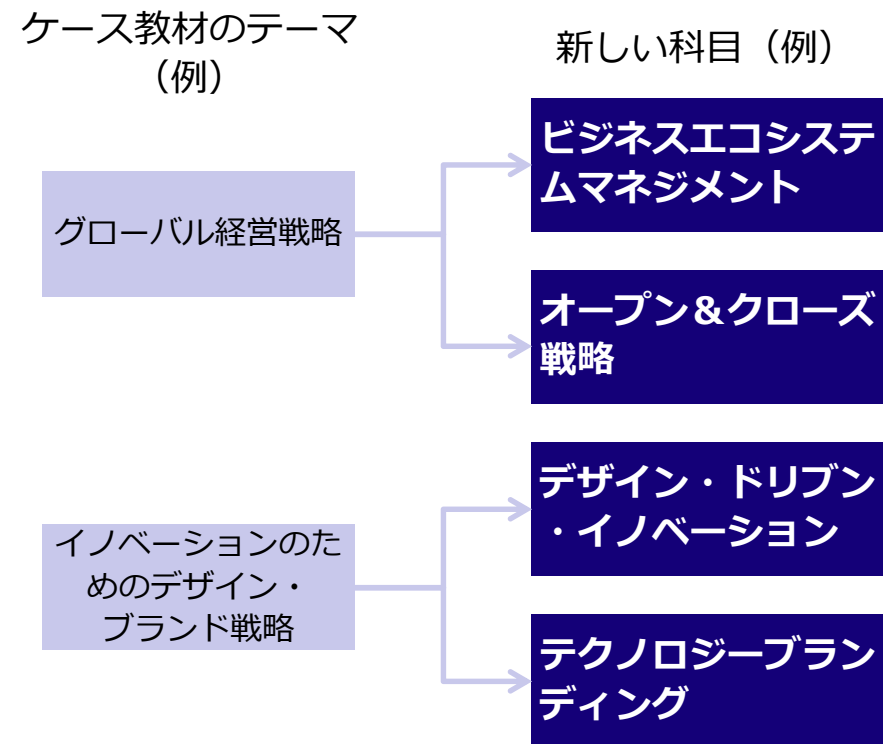
知財・標準化・英語による科目を充実させるとともに、新しい科目の新設の可能性も

既存の科目の強化



ケース教材の活用による
理解の促進

新しい科目（や短期授業）の新設



科目の新設による
カリキュラムの魅力向上

ケースの著者以外であっても、「ガイドがあるので使いやすい」という声も

ケースの著者による活用

ケースの著者**以外**による活用

活用者

加藤浩一郎教授／金沢
工業大学大学院

活用者

渡部俊也教授／東京大
学政策ビジョン研究セ
ンター

活用シーン

大学院授業「知的財産
マネジメント要論」

活用シーン

工学部大学院授業「知
的財産経営」

受講者数

10～20名程度

受講者数

10～20名程度

ケース教材

キヤノン、アドビシス
テムズ、デンソー等

ケース教材

グリーンテクノ

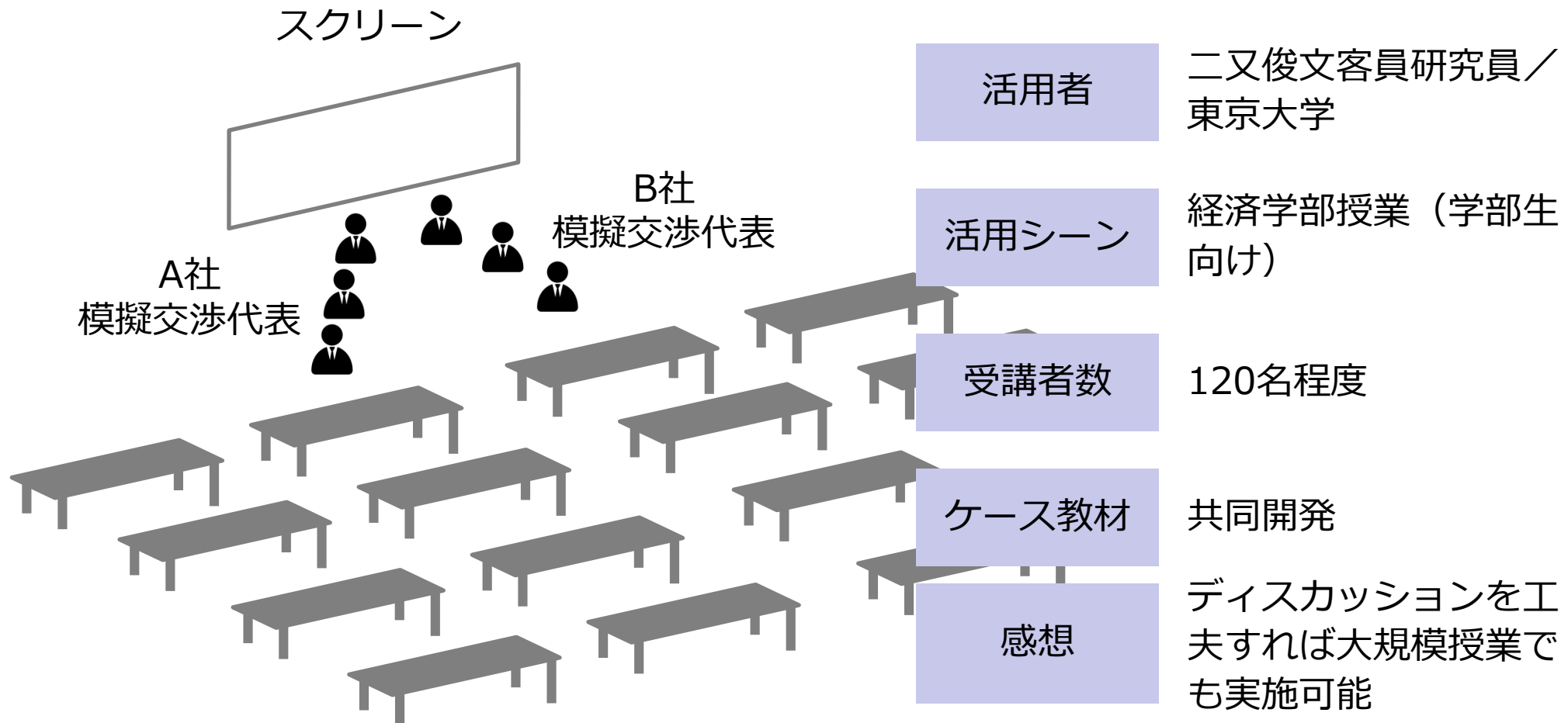
感想

学生の評価が高まった。
とくに**事業系からの人材
の評価が高い**

感想

ビジネスエコシステムを教
えるのに最適な教材。**ガイ
ドがあるので著者でなく
ても実施可能**だった

大規模授業においても効果的に活用することができた



大規模なセミナーでも活用することができる

特許庁 ケース教材 で検索



ホーム > 資料・統計 > 刊行物・報告書 > その他参考情報 > グローバル知的財産・標準化戦略に関するケース教材



グローバル知的財産・標準化戦略に関するケース教材

平成29年3月

特許庁総務部企画調査課

我が国企業が新産業の形成を主導し、グローバルな競争力を高めていくためには、ビジネスモデルの構築において知的財産や標準化を効果的に活用していく必要があります。とくに、企業の経営幹部や経営幹部候補、経営企画・事業部等のリーダーがこのような取り組みを主導していくことが重要です。

そこで、特許庁は、経営幹部や経営幹部候補、経営企画・事業部等のリーダーを主な対象とする、グローバルな知的財産・標準化戦略をテーマとして開発した教材を無償で提供します。

このケース教材はケースメソッド形式の人材育成を前提としています。さらに、ケース教材の活用方法、講義・ディスカッション等の研修の運営方法をまとめた教材指導ガイドや事前知識を効果的に学習するための自己学習用動画教材（一部のテーマについては、申し込み後に提供します。）も提供します。

なお、これらの教材の著作権は特許庁に帰属しており、特許庁による事前の許可のない翻案、翻訳、転載、人材育成目的以外の複製等を禁止します。（開発中の教材についても、完成次第、随時公開してまいります。）

[グローバル知的財産・標準化戦略に関するケース教材の活用のご案内チラシ\(PDF: 1,425KB\)](#)

グローバル知的財産・標準化戦略に関するケース教材一覧

主な対象	グローバル経営戦略		
	(1) 企業経営幹部・幹部候補	グローバル経営戦略	イノベーションマネジメント
	(2) 経営企画部門の管理職	国際標準化マネジメント	オープンイノベーションマネジメント
		ソフトウェア・ICT産業の知財を活用した事業戦略	ビジネスモデルデザイン～入門編～
	(3) 事業部門の管理職		
	(4) 中小企業の・後継者		

ーシラバス（PDF形式）及び自己学習用動画教材ー

テーマ名	監修	シラバス	自己学習用動画教材
1. グローバル経営戦略	立本 博文	シラバス (PDF: 129KB)	
2. ソフトウェア・IoT産業における知的財産を活用した事業戦略	加藤 浩一郎	シラバス (PDF: 114KB)	
3. 国際標準化マネジメント	上條 由紀子	シラバス (PDF: 143KB)	
4. 国際知財交渉マネジメント	二又 俊文	シラバス (PDF: 283KB)	自己学習用動画教材(外部サイトへリンク)
5. 中小企業におけるオープン&クローズ戦略	糸久 正人	シラバス (PDF: 115KB)	自己学習用動画教材(外部サイトへリンク)
6. イノベーションマネジメント	立本 博文	シラバス (PDF: 110KB)	
7. オープンイノベーションの仕組みとしてのコーポレート・ベンチャリング	中村 裕一郎	シラバス (PDF: 122KB)	
8. イノベーションのためのデザイン・ブランド戦略	杉光 一成	シラバス (PDF: 118KB)	自己学習用動画教材(外部サイトへリンク)
9. イノベーションとネゴシエーション	二又 俊文	シラバス (PDF: 155KB)	自己学習用動画教材(外部サイトへリンク)
10. オープンイノベーションマネジメント	清水 洋	シラバス (PDF: 137KB)	自己学習用動画教材(外部サイトへリンク)
11. ビジネスモデルデザイン～入門編～	妹尾 堅一郎	シラバス (PDF: 205KB)	自己学習用動画教材(外部サイトへリンク)
12. オープンイノベーションとネゴシエーション	二又 俊文	シラバス (PDF: 177KB)	自己学習用動画教材(外部サイトへリンク)

本資料の利用について

(1) 利用申込書の提出

教材の利用を希望する方は、「利用申込書」に必要事項を記入の上、下記の宛先まで電子メールにて送信してください。特許庁が利用目的を確認された教材を電子ファイルにて送信いたします。なお、フリーメールサービスからの送信は

- ケース教材等を利用する場合は利用申込書の特許庁に送付してください。
- 教材はメールで送付します。

- 具体的なケース教材が秀逸だと思います。自社の事例と比較して考えることで、仕事にどう活かせるかが想定しやすく助かりました。
- 自分の考えだけではなく異なる視点からの打ち手に気づくことができ、いろいろな選択肢を見つける、見方に気づくことができました。
- オープン＆クローズ戦略を具体例でしっかりと内容を理解することができました。また、個人での考えが、グループ討議で、より広い考え方に気付くことができました。
- 単なる座学ではなく、グループディスカッションであったこと、参加者のレベルがeラーニングによりある程度合っていたことにより満足度が高いです。
- ネゴシエーションのトライアルで他のチームがどのようにするのかを見て、経験できたのが良かったです。